

第39回近畿高等学校総合文化祭京都大会

将棋部門実施細目

- 1 開催日時 令和元年11月16日(土)11:30～17:30
17日(日) 8:30～12:45
- 2 会場 京都府総合見本市会館「パルスプラザ」第2展示場
〒612-8450 京都市伏見区竹田鳥羽殿町5
TEL 075-611-0011 FAX 075-611-6299
- 3 部門事務局 〒601-8449 京都市南区西九条大国町1
京都府立鳥羽高等学校内 将棋部門
担当 山本 一博(やまもと かずひろ)
TEL 075-672-6788 FAX 075-691-7448
E-mail: yama-ichi@kyoto-be.ne.jp

4 日程・次第

(1) 日程

令和元年11月16日(土)

- 11:30～12:00 受付
- 12:00～12:20 開会式
- 12:30～17:30 対局
予選スイス式トーナメント4回戦(個人戦・団体戦)
- 15:00～17:30 交流会(自由対局、指導対局など)
- 15:00～16:00 府県代表者会議

令和元年11月17日(日)

- 8:30～9:00 受付
- 9:10～12:00 対局
準々決勝(個人戦)・準決勝・決勝(個人戦・団体戦)
- 9:00～12:00 交流会(指導対局)
- 12:15～12:45 閉会式

*大会の進行状況により、時間に変更になる場合があります

(2)式次第（敬称略）

開会式

- | | |
|------------------|--|
| ① 開会のことば | |
| ② あいさつ | 京都府高等学校文化連盟
将棋専門部会長 山埜 茂彦 |
| ③ 歓迎のことば | 京都府代表生徒 京都府立鳥羽高等学校
望田 大輝 |
| ④ 講師紹介
代表あいさつ | 日本将棋連盟棋士 安用寺 孝功 六段 |
| ⑤ 選手宣誓 | 京都府選手代表 洛星高等学校
早瀬 省吾
京都府立鳥羽高等学校
川東 瑞綺 |
| ⑥ 競技方法説明・諸注意 | 審判長 中尾 修 七段 |
| ⑦ 閉会のことば
諸連絡 | |

閉会式

- | | |
|-----------------|---|
| ① 開式のことば | |
| ② あいさつ | 京都府高等学校文化連盟
将棋専門部会長 山埜 茂彦 |
| ③ 成績発表・表彰 | |
| ④ 講評 | 日本将棋連盟棋士 安用寺 孝功 六段 |
| ⑤ あいさつ | 京都府代表生徒 京都府立鳥羽高等学校
望田 大輝
次年度開催県代表生徒 奈良育英高等学校
木村 弥生 |
| ⑥ 閉式のことば
諸連絡 | |

※注 大会のタイムテーブルはあくまで目安です。進行状況により早めて実施する場合があります。

また、大会当日、他の行事も入っていますので、車での御来場は御遠慮ください。

- 5 競技種目
- (1) 男子団体戦 各府県代表の1チーム（3名で構成）
 - (2) 女子団体戦 各府県代表の1チーム（3名で構成）
 - (3) 男子個人戦 S級（各府県2名以内）
A級（各府県2名以内）
B級（各府県2名以内）
 - (4) 女子個人戦 S級（各府県2名以内）
A級（各府県2名以内）

○ 個人戦と団体戦を兼ねて出場はできません。

- 大会運営上、開催県の参加人数が増えることがあります。
 - 団体戦については、補欠生徒の登録を2名まで認めます。補欠登録をしていない生徒の出場は認めません。
- 6 競技方法
- (1) 女子団体戦は総当たり戦、その他については予選はスイス式トーナメント4回戦で行い、団体戦においては上位4チーム、個人戦においては上位8名がその後の決勝トーナメントに進出します。
 - (2) 予選1回戦の相手は、事務局で抽選させていただきます。また参加者（チーム）数の関係により不戦勝が生じる場合があります。
 - (3) 決勝トーナメントは予選の成績に基づき対戦相手を決定します。
 - (4) 先後手の決定は振り駒で決めます。団体戦は主将が振り駒をし、副将以降交互に先後となります。また、対局時計の置き場所は後手が決定できます。
 - (5) 対局時計を使用し、持ち時間は15分、使い切った後は30秒の秒読みとします。
 - (6) 対局が終了したら、速やかに、対局者2名で受付までカードを提出して勝敗確認を行ってください(勝ちが1、負けは0で、累計はその回戦までの勝ち数の合計)。
- 7 ルール
- (1) 日本将棋連盟のルールに従います。千日手は先後を入れ替えて指し直しとします。指し直し対局の持ち時間については原則としてはそのままですが、残り時間を考慮し改めて設定することもあります。判断は審判長に委ねます。また、千日手が1度の対局で2回生じた場合は抽選で勝敗を決めます。
 - (2) 持将棋は27点制を採用します。双方27点の場合は後手の勝ちとします。
 - (3) 禁じ手など何か問題が生じた場合、対局時計の中断ボタンを押し、速やかに審判長に申し出てください。判断は審判長が行います。また、反則については、必ず対局者が指摘してください。対局者以外の者が指摘すると助言になります。
 - (4) 規定の時間を過ぎても、対局が終了しない場合、勝敗を審判長が判定する場合があります。
 - (5) 団体戦で補欠の選手が出場する場合は、欠場者の位置にそのまま補充してください。申込のオーダー順と変更のないようにしてください。また、チームに欠員が出た場合は、その対局は不戦敗とします。
- 8 表彰 各部門の優勝、準優勝、第3位（2名・2チーム）を表彰します。
（3位決定戦は行いません）
- 9 審判員 大会審判長 日本将棋連盟棋士 七段 中尾 修
- 10 救護 (1) 救護が必要な場合は、本部まで申し出てください。
(2) 各会場から医療機関への移送には、参加校関係者の付き添いをお願い

します。

- (3) 医療機関における医療費及び移送費等、受診にかかる費用は、受診者の負担になります。

11 講師

日本将棋連盟棋士	安用寺	孝功	六段
日本将棋連盟棋士	西田	拓也	四段
日本将棋連盟棋士	中尾	修	七段
日本将棋連盟棋士	野間	俊克	六段
日本女子プロ将棋協会棋士	鹿野	圭生	二段
日本将棋連盟棋士	北村	桂香	初段
日本将棋連盟棋士	藤井	奈々	一級

注) 北村初段は16日のみ、鹿野二段は17日のみです。

12 出場選手名簿 略

13 会場案内図 略

14 会場周辺図 http://www.pulseplaza.jp/access_jp.html より転載



京都駅より直通バス15分(京都洛南エクスプレス片道大人310円京都市バス京阪バス)

↑

洛楽マップ http://www.kyoto-nanbu.org/images/map_omote.pdfをご覧ください。

あるいは京都駅より地下鉄烏丸線(260円)で竹田駅下車徒歩約15分(バス5分)

※この他京阪を利用する方法もあります。詳しくはパルスプラザのアクセスのページをご覧ください。 http://www.pulseplaza.jp/access_jp.html